

うか。
 ○当初は、認証保育所が開設する予定であり、適切な判断であったが、保育所が閉園したことで想定外の事態となった。
 ○私立保育園長会は、園舎建替えに伴う補助金増額の要望を区に提出しており、積極的な対応が必要と



民主クラブ
酒井 たくや

質疑項目
 ○中野区職員倫理条例について
 ○中野区環境基本計画について
 ○東中野小学校跡地活用について
 ○学校教育について
 ○地球温暖化防止の取り組み
 ○家庭が排出する二酸化



自由民主党議員団
伊藤 正信

質疑項目
 ○中野区行政革新5か年プランの成果と今後の対応について
 ○子育て支援について
 ○子ども家庭部と教育委員会の連携について
 ○防災対策について
 ○行政革新5か年プラン
 ○行政革新5か年プランは21年度で終了するが、その後は改定するのか。

考える。区立園を民営化する際に耐震診断を行っているというが、民営化した4園ではコンクリートの剥落部分がある。改めて、耐震診断が必要ではないか。
 ○民営化した際に、所有権は設置法人に移転しており、区が実施する考えはない。法人は、都の社会福祉施設等耐震化促進事業の補助対象であり、この補助に加え区も補助していきたい。
 ○東中野駅周辺の開発
 ○開発にかかる総事業費の見込み額は。
 ○駅上空開発部分と駅前広場全体で12億円余を見込んでいる。

ため、条例が作られた。全職員への法令遵守意識の浸透に向けた研修制度と、客観的に判断できて実効性ある条例のしくみが必要ではないか。
 ○制度導入時の全管理職研修の他、新規採用時研修に組み入れていく。また、客観的判斷基準も検討する。
 ○東中野小学校跡地活用
 ○閉校後の施設を高齢者も使用する際、バリアフリーでの整備を行うべきではないか。
 ○危険箇所を整備する。
 ○小中学校再編計画
 ○今後、子どもが小・中学校で二度の再編を経験しないよう配慮すべきではないか。
 ○可能な限り配慮したい。
 ○「学校規模の適正化のため」の再編だが、多数の子どもが通う学校は統合対象とすべきでないのでは。
 ○小規模校適正化のため、隣接の適正規模校と組み合わせる再編する場合もある。

行政革新は不断の取り組みが必要で検討していく。
 ○行政経営システムのPDC Aサイクルは、事業部制の中で機能しているのか。
 ○定着しつつあるが、今後にも必要に応じ修正を加える必要はないか。
 ○取り組み事業が十分に達成されていないように思える。今後の取り組みは、相当程度は達成できていると思うが、不十分なところもある。行政革新の新たな指針を設けていきたい。
 ○保育園入園待機児対策
 ○少子化対策に対する区の考え方はどうか。
 ○元気いっぱい子育て戦略として取り組んでいる。安心して自信を持って子育てが楽しめる地域社会づくりが重要である。
 ○保育園の入園待機児解消のため、家庭福祉員の活用を図るべきだ。2歳までの子は家庭的な環境で育つことも大切で、家庭福祉員を増員すべきではないか。
 ○家庭福祉員が緊急の場合の代替や、施設の整備が課題だ。連携保育所を整備し増員を図っていきたい。
 ○災害時の避難対策
 ○避難所の開設・運営訓練は、緊急時に備え大いに役立つ。多くの人が経験するための今後の展開は、すべての避難所で実施すべきと考える。防災会単位の訓練や総合防災訓練を充実させていきたい。
 ○(仮称) 南部防災公園、



公明党議員団
南 かてひら

質疑項目
 ○成年後見制度の充実について
 ○軽度発達障害の施策について
 ○西武新宿線沿線まちづくりについて
 ○成年後見制度
 ○高齢化が進むなか、成年後見制度の重要性が増してくると思うが区の見解は。
 ○大変重要な課題である



日本共産党議員団
かせ 次郎

質疑項目
 ○中野駅周辺整備について
 ○子育て支援施策について
 ○バリアフリーのまちづくりについて
 ○警大等跡地整備
 ○警大等跡地整備計画には田中区長誕生以来、約1億6千万円の税金が使われ、さらに20年度予算では道路・公園整備費として6億6千万円余が計上されている。この先どれくらいの税金が投入されるのか。
 ○21年度予算には9500万円余を計上しており、22年度以降は進捗よく応じて予算化していく。
 ○わからないということだと思ふ。次に、都市計画公園の東には高さ54mのビル、南には高さ約100m、幅140mのビルが建つ。冬には日がささず寒い公園になるのではないか。
 ○土地の高度利用、合理

本町二丁目用地、本町五丁目NTT跡地の防災公園としての今後の考え方は。
 ○(仮称) 南部防災公園は24年度末に竣工予定である。本町二丁目用地の整備は、二、三丁目全体のまちづくりが前提で、方向性を固めていく。本町五丁目NTT跡地は、5年分割による用地取得とそれに合わせた整備を想定している。
 ○(仮称) 南部防災公園、

政のサポートが不可欠であると考える。区の考えは。
 ○成年後見支援センターにおける個別相談のほか、後見人同士の情報交換の場を設けるなど、心理面でのサポートも行いたい。
 ○軽度発達障害
 ○軽度発達障害を発見するには5歳児健診が有効であると思うが導入予定は。
 ○当面導入予定はないが、現在も、3歳児健診のフォローとして、専門医療機関や療育センターアポロ園との連携を図っている。
 ○子どもが軽度発達障害であるという現実を受け入れられず悩んでいる保護者も多いと聞く。障害の理解、治療の必要性などの啓発のためのPR活動を積極的に進めるべきではないか。
 ○ボランティア向け研修会などを開催しているが、今後は、一般区民を対象にした啓発パンフレットを作成し、子ども関連施設や小学校などで配布予定である。

材の育成が重要な課題であると思ふが区の見解は。
 ○後見人の業務は大きな責任を伴うものであり、行政のサポートが不可欠であると考える。
 ○人材の育成が重要な課題であると思ふが区の見解は。
 ○後見人の業務は大きな責任を伴うものであり、行政のサポートが不可欠であると考える。
 ○新中学校は高い建物に囲まれ、日影やビル風、プライバシーなど問題が多い。良好な教育環境と公園の防災機能を求める区民の声にどう応えるのか。
 ○教育環境やオープンスペースの重要性は十分認識しており、今後、財務省との協議を進めていく。
 ○第4期介護保険事業計画
 ○第4期計画では保険料の段階を12段階にするとのことだが、第3期では13段階であった。より多い段階設定にすべきではないか。
 ○第3期は激変緩和措置のため13区分あったが基本は8段階であり、第4期では基本12段階に設定する。
 ○第3期計画期間におい

本町二丁目用地、本町五丁目NTT跡地の防災公園としての今後の考え方は。
 ○(仮称) 南部防災公園は24年度末に竣工予定である。本町二丁目用地の整備は、二、三丁目全体のまちづくりが前提で、方向性を固めていく。本町五丁目NTT跡地は、5年分割による用地取得とそれに合わせた整備を想定している。
 ○土地の高度利用、合理的な土地利用が考え方のベースであり、一定の日影はやむをえない。
 ○新中学校は高い建物に囲まれ、日影やビル風、プライバシーなど問題が多い。良好な教育環境と公園の防災機能を求める区民の声にどう応えるのか。
 ○教育環境やオープンスペースの重要性は十分認識しており、今後、財務省との協議を進めていく。
 ○第4期介護保険事業計画
 ○第4期計画では保険料の段階を12段階にするとのことだが、第3期では13段階であった。より多い段階設定にすべきではないか。
 ○第3期は激変緩和措置のため13区分あったが基本は8段階であり、第4期では基本12段階に設定する。
 ○第3期計画期間におい

